

価値創造プロセス

外部環境

機会

- 持続可能な原材料の安定調達
- 食のトレーサビリティ強化
- 食品の冷凍保管・供給・調節機能への期待増
- 冷凍食品の需要増
- 健康志向商品の需要増
- 個人に最適化された食と医療の促進
- 労働力不足や法規制に対応した新たな商品とサービスの提供
- 循環型商品とサービスによる価値提供

リスク

- 気候変動の影響による食資源や水資源の枯渇
- 労働力不足
- ノウハウ継承の断絶
- 持続可能なサプライチェーンの断絶や維持困難
- 原材料の調達コスト増
- 再生可能エネルギーへのシフトによる環境投資増
- 人口構造に起因する市場の変化
- 各国の輸出入に関する規制強化

グループ重要事項 (マテリアリティ)

食と健康における新たな価値の創造

食品加工・生産技術力の強化と低温物流サービスの高度化

持続可能な食の調達と循環型社会の実現

気候変動への取り組み

多様な人財の確保と育成

INPUT

※数値は原則として2022年度末データ

財務資本

- 総資産: 4,573億円
- 自己資本比率: 49.1%
- フリー・キャッシュ・フロー (配当前): 110億円

製造資本

- 製造拠点: 国内 21拠点
海外 7拠点
- 冷蔵設備能力: 国内 155万トン
海外 71万トン

知的資本

- 生産ノウハウ
- 調理加工技術力
- 物流ノウハウ
- ブランド力

人的資本

- 連結従業員数: 15,766名
- 専門性を持った人財
- 平均勤続年数: 男性 17.7年
女性 15.7年

社会・関係資本

- 販売ネットワーク
- 物流ネットワーク
- 社会貢献寄付金額: 4.3億円

自然資本

- グローバルな農畜水産品の調達ネットワーク: 約30カ国

時代とともに新たな価値を創造し続けてきた
食のフロンティア力

社会課題解決力

詳細は(P.24-25, P.90-97)

磨き上げた高度な食品加工・生産技術力と低温物流サービス力

コールドチェーンを自社で保有するグループ総合力

OUTPUT

経済的価値

	2024年度目標	2030年度目標
売上高	6,600億円	1兆円
海外売上高比率	20%	30%
営業利益率	5.6%	8%
ROIC	7%以上	9%以上
EBITDA マージン	10%	12%

社会的価値

持続可能な食の調達と循環型社会の実現

2030年度グループ目標 (KPI)	2024年度目標	2030年度目標
サーキュラーエコノミーの実現に向けたSDGs教育プログラムの受講率100%	100% (役職者)	100% (全従業員)
全拠点における廃棄物リサイクル率99%	99%	99%
定期的に全拠点での水リスクアセスメントを実施し、保全活動やBCPに取り組む	2023年度に実施	定期的に全拠点での水リスクアセスメントを実施し、保全活動やBCPに取り組む

気候変動への取り組み

2030年度グループ目標 (KPI)	2024年度目標	2030年度目標
CO ₂ 排出量50%削減 (2015年度比、国内Scope1,2)	△30%	△50%
自然冷媒化率 生産設備 (国内)	100%	80%
低温物流関係 (海外を含む)	75%	62%
		75%

多様な人財の確保と育成

2030年度グループ目標 (KPI)	2024年度目標	2030年度目標
女性取締役・監査役比率 (HD*) 30%以上	20%以上	30%以上
女性管理職 (ライン長) 比率 (HD*) 30%	20%	30%
2030年までに人財投資額を2倍*2	1.7倍	2.0倍

※1 HD: ニチレイ (持株会社)
※2 2018~2020年度平均人財投資額に対する倍率

OUTCOME

ステークホルダーとの協創

詳細は(P.82-89)

お客様

- イノベーションの推進によるお客様の課題解決

株主・投資家

- 長期的な企業価値の向上

ビジネスパートナー

- パートナーとの相互成長

従業員

- 多様な人財の活躍

地域社会

- 地域社会との共生

業界団体・NGO・NPO・イニシアチブ

- 協働による社会課題の解決

持続可能な社会の実現